

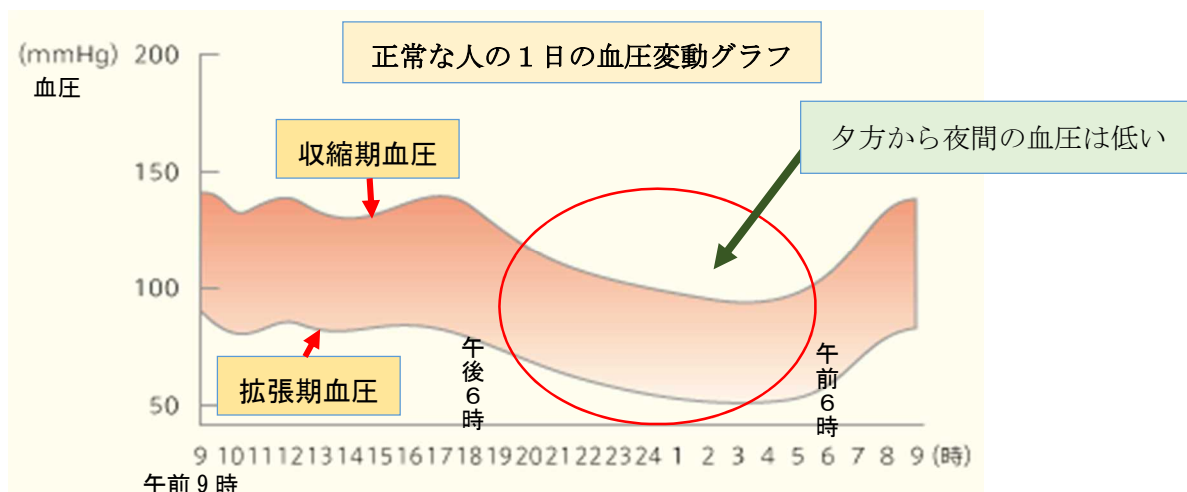
高血圧の治療を受けている患者さんへ

文責 富吉共立病院 内科 大塚伸昭

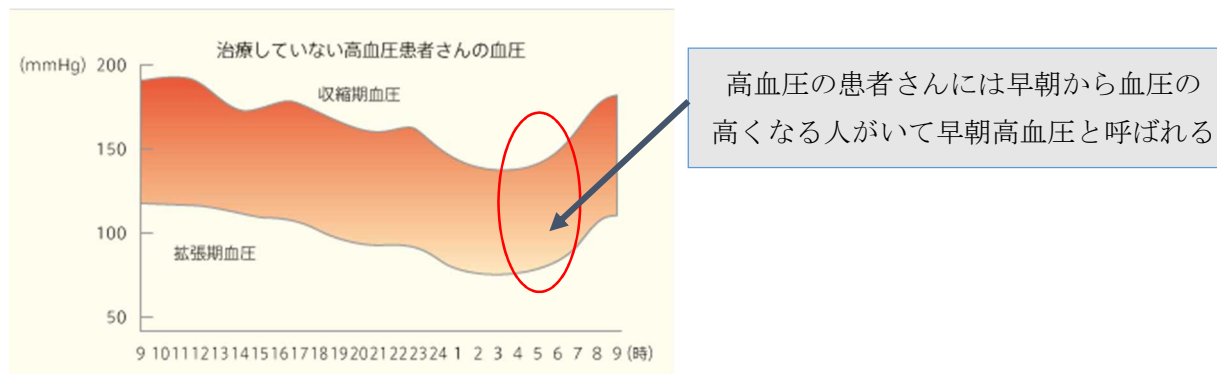
① 血圧の薬は朝服用していますが、夜服用しても良いですか？

血圧は起床後低く、仕事や日常生活を始めると高くなる傾向になります。これには自律神経の交感神経の働きが早朝から夕方くらいまで活発な事も関係しています。したがって、降圧剤は通常は朝服用します。昔は朝、昼、夕食後の3回服用が多かったのですが、最近の薬は効果が1日持続するタイプになっていて1日1回の服用となっています。

下の図を見てください。これは正常な人の1日の血圧の変動をグラフで示しています。夕方から夜間は血圧が低く起床時にかけて高くなっています。これは自律神経の副交感神経の働きが夜間は活発になることも影響しています。副交感神経はリラックスさせる働きがあり、胃腸の動きも活発になります。副交感神経には気管支収縮作用もありますので、喘息患者さんは夜間に発作が強くなる事もあります。



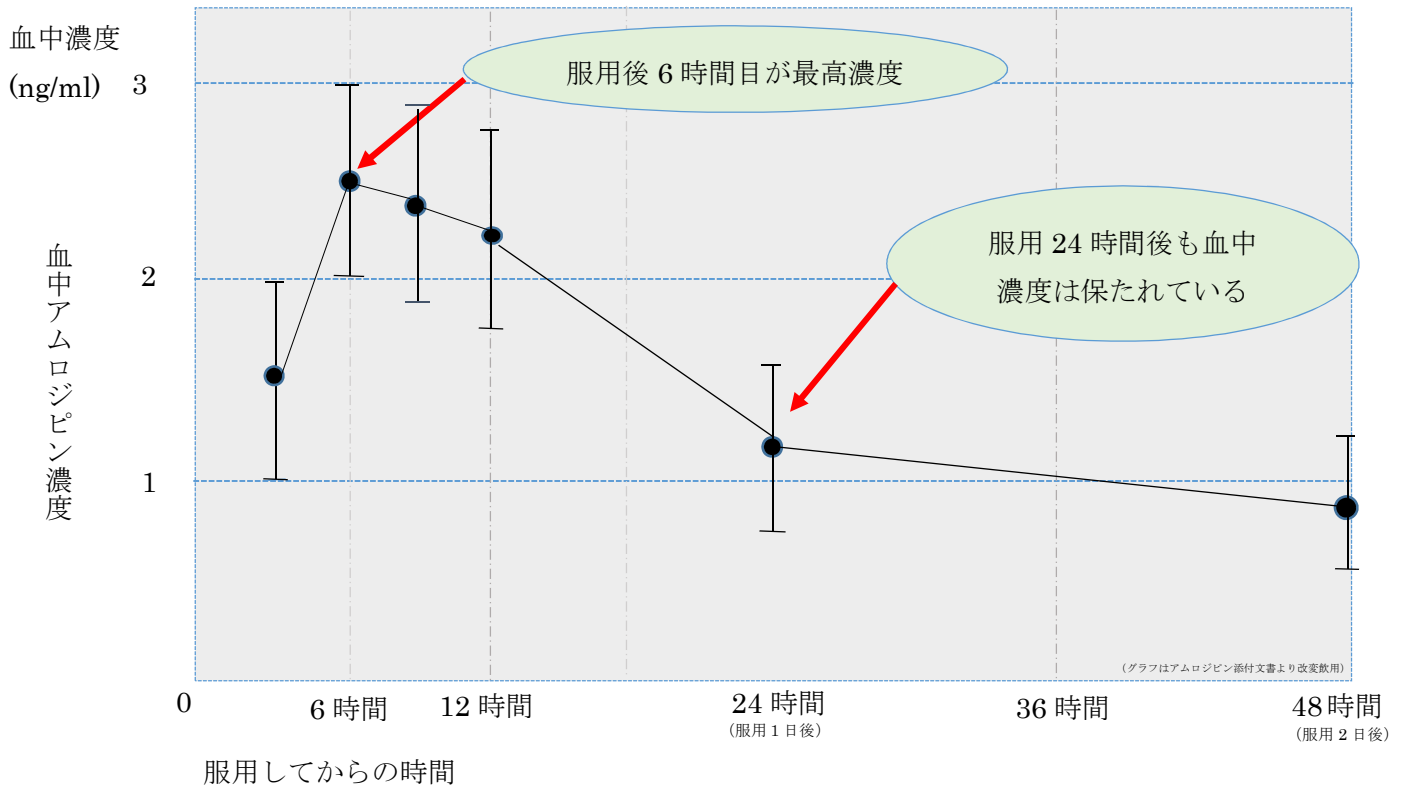
血圧の薬は朝服用が一般的ですが、高血圧の患者さんの中には**早朝高血圧**と言って、起床前から血圧が高くなる人がいます。この場合には**夕方か眠前に血圧の薬を追加処方**する場合があります。



(グラフはアステラス製薬 HP より改変引用)

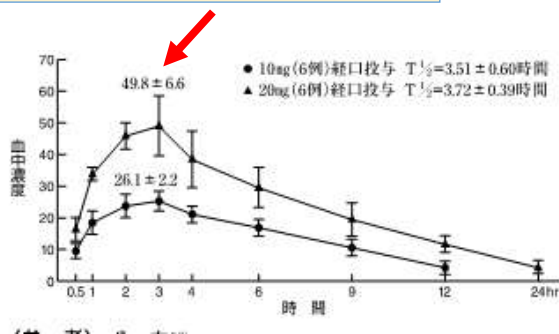
血圧の薬は通常は1日1回服用が良いとの事ですが、**体内での血中濃度の変化**を教えてください。

下に降圧剤として良く使用される後発品（ジェネリック）の**アムロジピン 5mg** を服用した時の血中濃度を示します。アムロジピンは先発薬品のアムロジンやノルバスクと同じです。



上図のように**服用後約6時間目で薬の血中濃度は最高**になりますが、12時間後も血中濃度が高い事がわかります。また、24時間後、48時間後も血中濃度が保たれています。このため、軽度の高血圧患者さんでは1日1回朝の服用でコントロールが可能となっています。

ニフェジピンLという降圧剤は服用後約3時間で最高濃度に達して24時間後には効果が無くなります



ロサルタンという降圧剤は服用後約1時間で最高濃度に達して12時間後には効果が無くなります

